



目指すは和賀心 体得するは一切神愛

発行所〒790-0862
金光教松山東教会
松山市湯渡町 1-12
TEL (089)931-7639

1月号

天地書附に、おかげは和賀心にありと示されています。
和賀心とは、やわらぎよろこぶ心。
何事もみな天地乃神の差し向けとして尊ぶ姿勢に、
和賀心が生まれてきます。

写真は
金光教フェイス
ブックより



賀 正

開教百十年『神のお徳を受けるために』

今年もどうぞよろしくお願いいたします

根を張り、幹が太り、枝葉が栄える『節目から伸びていく』信心をします。

今月のみ教え

「常平生^{つねへいぜい}、神様に取りすがっていれば、神様と心安くならせてもらっているも同然である。無理も聞いていただける。大難は小難にまつりかえてくださり、小難は無難にお取り払^{はら}いくださる」

金光教教典P671

「信心する人は、めぐりを取り払ってもらっているのであるが、信心をせず、うかうかと暮らす人は、めぐりを積んでいるのである。」

金光教教典P538

*注めぐりⅡ「前々の巡り合わせで難を受けおる」の意味。「数多くの氏子が、生かされて生きている道理を知らずして我情我欲に惑い、前々の巡り合わせで難を受けおるは神の嘆きなる」と人間の難儀の原因を、天地の神様は教祖様に伝えられました。

和賀心を目指す

『宇宙の心は「ありがとう」』

教会長 秦道明

〈「ありがとう」という宇宙の法則〉

教会のご神前に、「ありがとう」と「ばかやろう」と書かれた二個のビアグラスをお供えています。それは二十二年前、小学校四年生だった三男と共に、夏休みの宿題をかねて一ヶ月間実験したもので、「宇宙の法則は『ありがとう』」という本を読んで行なった実験でした。

二個のビアグラスに白いご飯つぶを一つまみ入れ、「ありがとう」と「ばかやろう」と書いた付箋ふせんをそれぞれのグラスに貼り、毎日それぞれのご飯つぶに、書いた通りの言葉をかけてやり

ました。すると、かなり日にちが経ってから、少しずつ変色が始まりました。一カ月が終了した時点で、「ありがとう」の中のご飯つぶは乳白色になり、「ばかやろう」の中のご飯つぶは黒灰色になって、白黒がはっきり比較できるようになったのです。二十数年間経った今も、乳色と黒色の状態で残っています。

ある時、「そんな実験は、今の時代どこの実験室でも実証済みだ」と理科学系の学生に特別なことではないと言われたことがありますが、確かに、近年の先進的科学や心理学の分野では、「ありがとう」の言葉が代表する

人間の感情と宇宙の法則が、重要な関係として研究されていることを、改めて知った気がしました。

ただ宇宙の法則は、人間の常識や良識とは少し違い、有り難いと思うか有り難くないと思うかが判断されるのだと言われます。したがって、人間の感情では自分に都合の良いことは「ありがとう」と思えても、都合の悪いことは「ありがとう」と思えませんが、宇宙の法則では、都合の悪いことに「ありがとう」と思うことが正解だそうです。都合の悪いことに「ありがとう」と言うことが、より宇宙にお任せすることになるのだそうです。

教祖金光大神様は、信心の核心を「おかげは和賀心わがこころにあり」と説かれました。和賀心はおかげが入る最高の受け物であり、幸福を引き寄せる心だと教えら

生神金光大神
天地金乃神
心願
おかげは和賀心あり
今日今日でたのめい

天地書附

れています。和賀心は、都合の悪いことにも「ありがとう」とお任せができる心です。和賀心はまさに、宇宙の法則の核心とも言えると思います。

〈人生は、自分で書いたシナリオ〉

心理学博士の小林正観さんの著書で、「宇宙の法則は、自分の意志とは関係なく、未熟な私の意志とは関係なく、今までのシナリオどおりに事が進むようになっていく。それは、やる羽目になった、というかたちで現れてきます。

だから、何も考える必要がない。やる羽目になったことを淡々とやるという人生が、私が言う「おまかせ」の人生ということですよ」というように言っています。

東京大学救急医学の矢作直樹教授の著書には、「人は死なない」「私たちの魂は死ぬことがない」「寿命とは魂を^{たましい}磨き、お役目を果たす時間」「お役目を全うして楽しい人生を送る」と書かれています。

医学・科学が進歩すれば、魂の存在が明らかになってくるとは思っていました。現在では、医学者自身が魂の存在とその意義を本にして出版するようになりました。

金光教の信心は「心直して助かる信心」であり、教祖金光大神様のまたのお伝えには、『人間はみな、生まれる時に約束をしてきているのである』『何事もみな天地乃神の差し向け』『信心をしておかげを受けて神になれ』とみ教え下さっています。

現代の先進科学や心理学で言われ

る「宇宙の法則」や「自分で書いた人生のシナリオ」等を下敷きにして金光大神様のみ教えを頂く時、そのみ教えは、宇宙の法則の最も大切なところを伝えてくださっていたことが分つてきます。

〈ありがたくなって、神のお徳を受ける〉

私たちお道の信奉者は、日常生活の中で、心が有り難くなる信心のけいこをしています。有り難くなることで神様のおかげを頂くことができ、有り難い心が大きくなることで、自ずと神様のみ心の神のお徳を受けることができます。

「ありがたいと思う心」は、思ってもみないほどのおかげが頂けて、また、神様の願いが成就することになるので

す。人間を幸福にしようとする宇宙の法則を、科学からも解明しようとする時代になってきました。

人間は皆、神の氏子としての「目的」と「お役目」を全うして、幸福に生きられるようになっていくのです。人間の寿命とは「魂を磨く時間」であり「有り難い心を育てる時間」なのです。そして私たちは、その信心のおかげと喜びを、ぜひ家族に周囲の人に伝えていきますよう。その祈りと行ないは、更に、神のお徳を積ませていただけることになります。

「和賀心」2022年7月号を再編集

お知らせ

○「ご役員会」は毎月1日、午前10時から行なわれます。

ご役員会は今年一年間、「開教百十年祭」の準備を行ないます。

○「日曜参拝」は、毎日曜午前10時から「ご祈念」が行われます。

*参拝して「お取次」を願えば、神様に届きます。

*日々、子供・孫や大切な人たちに「信心の喜び」を伝え残せるよう、願わせていただきますよう。

編集後記

有り難くなる信心のけいこをする人は、徐々に人を責め立てたり非難をしなくなっていくます。

おかげを受けても、有り難くなる思いにならない人は、何時までも自分の持論を主張して人を非難してしまいま

す。

同じ神様からおかげを頂いていても、次第に、大きく分かれていってしまいます。

神様のおかげの中に生かされていることを知っている人は、考え方に深さと幅ができていきます。生かされていることを知らない人は、やはり自分の持論を主張して、相手を非難せずにはおれなくなるのでしよう。

科学や心理学が、人間は生かされて生きていることを発見する時代になってきました。改めて私たち信奉者は、生かされて生きる心を土台にして、今日を生きたいと思えます。(草)



ホームページQR